

不適合情報

2026年2月10日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆「不適合」とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性および信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

不適合(CAQ影響度判定)については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. CAQ高 0件

2. CAQ中 0件

3. CAQ低 0件

4. Non-CAQ 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	タービン建屋地下2階(管理区域)西側通路床面側溝内に、水溜り(約1リットル、汚染なし)があることを確認した。調査の結果、壁面部のひび割れから地下水の滲みだしを確認。当該箇所を修理。なお、滞留水は高電導度廃液系排水槽(A)に流入。	2026/02/03	
2	2号機	タービン建屋地下3階(管理区域)西側通路床面側溝内に、水溜り(約2.7リットル、汚染なし)があることを確認した。調査の結果、壁面部のひび割れ(2箇所)から地下水の滲みだしを確認。当該箇所を修理。なお、滞留水は高電導度廃液系排水槽(A)に流入。	2026/02/05	
3	3号機	中央制御室において、サービス建屋換気空調系加湿器異常警報の発報を確認した。調査の結果、加湿器蒸気ホースの詰まりと判明。当該ホースを交換。	2026/02/05	
4	4号機	非常用ディーゼル発電機(B)自動電圧調整器点検において、直流電源装置故障ランプの点灯を確認した。調査の結果、直流電源装置警報回路の不具合と判明。当該電源装置を交換。なお、他の非常用ディーゼル発電機(2台)が待機中のため、保安規定にもとづく機能要求に問題なし。	2026/02/03	
5	7号機	原子炉建屋2階(管理区域)電気ペネトレーション室床面の穴開け作業において、埋設電線管および照明用ケーブルを損傷させたことを確認した。当該電線管およびケーブルを修理。なお、作業前の安全措置(電源停止)により、損傷による影響なし。	2026/02/02	